

平成21年3月5日

午前10時開議

議 場

1. 議事日程（第10日目）

日程第 1 一般質問

1. 北垣 潮君

- (1) 新型インフルエンザ対策について
- (2) 大阪在住の方で天草市出身の方がすすめる原子力発電所の誘致について
- (3) 海ごみを利用した環境館構想について
- (4) 合併の約束である均等ある4町の発展と松島庁舎建設について
- (5) 松島商業高校の存続について

2. 田中 豊八君

- (1) 樋島漁協損失補償問題について

3. 山口 安彦君

- (1) 市長施政方針について
- (2) 地域公共交通バス路線及びダイヤの改定について
- (3) スパ・タラソ管理運営について

2. 本日の出席議員は次のとおりである。（25名）

議長 渡辺 稔夫

1 番 高橋 健	2 番 小西 涼司	3 番 島田 光久
4 番 新宅 靖司	5 番 川口 望	6 番 田中 万里
7 番 塩田 真一	8 番 山口 安彦	9 番 北垣 潮
10 番 東川 義勝	12 番 堀江 隆臣	13 番 佐藤ユミ子
14 番 窪田 進市	15 番 田中 豊八	16 番 津留 和子
17 番 瀬崎 秀輝	18 番 寄口 大和	19 番 桑原 千知
20 番 渡辺 勝也	21 番 田中 勝毅	22 番 藤川 勝久
23 番 山崎 哲哉	24 番 蔭塚 安親	25 番 須崎 正造

3. 本日の欠席議員は次のとおりである。（1名）

11 番 園田 一博

4. 会議事件説明のため出席した者の職・氏名

市	長	川端 祐樹	教	育	長	鬼塚 宗徳													
総	務	部	長	川本 一夫	企	画	観	光	部	長	村田 一安								
健	康	福	祉	部	長	松浦 省一	市	民	生	活	部	長	田中 義人						
建	設	部	長	永森 文彦	経	済	振	興	部	長	山下 幸盛								
教	育	部	長	鬼塚 憲雄	水	道	局	長	鍛	田	成	朗							
上	天	草	総	合	病	院	課	長	大	窪	直	財	政	課	長	永	森	良	一
総	務	課	長	杉	田	良	一												

5. 職務のため出席した者の職・氏名

議	会	事	務	局	長	村	枝	誠	二	局	長	補	佐	野	崎	秀	満
参						事			大	石	智	奈	美				

開議 午前10時00分

○議長（渡辺 稔夫君） おはようございます。

これより会議を開きます。

議事日程はお手元に配付しているとおりであります。

本日は最終日の一般質問を行います。

ここでお諮りいたします。報道関係者よりテレビ撮影の申し出がっておりますが、これを許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（渡辺 稔夫君） 御異議ございませんので、テレビ撮影を許可することに決定いたしました。

日程第1 一般質問

○議長（渡辺 稔夫君） 日程第1、一般質問を行います。

一般質問の通告がっておりますので、順次発言を許します。

9番、北垣潮君。

○9番（北垣 潮君） おはようございます。9番、民主党、北垣潮です。きのうは田中万里議員から子育て支援の質問がございましたが、民主党は子育て支援には月額2万6,000円支

給すると約束しています。5人の子どもがいれば月額13万円になります。しかし、一昨日は党首の秘書が逮捕されました。松島商業も3年後には姿を消す松島商ということも熊日には書かれていました。泣きっ面に蜂という心境です。平成18年の9月議会で、上天草市に一つの高校をという意見書を出した時点でこうなるんだろうとっていました。しかし、地域のためにはまだまだあきらめずに頑張っていこうとんでいます。県庁にむしろ旗を立てて押しかけようという声もあります。大矢野城を攻めるより熊本城を攻めるしかないかなと思っています。

今回、新型インフルエンザ対策について、天草市出身で大阪在住の方が進める原子力発電所誘致について、海ごみを利用した環境館構想について、合併の約束である4町均等と書いていますが、4町均衡を図る発展と松島庁舎建設について、5番には松島商業高校の存続についてと上げていましたが、今回は松島商業高校存続についてはやめます。

昨年の6月議会でも鳥インフルエンザ対策について質問しましたが、新型インフルエンザについては新聞などでもよく報道されています。2月3日には山鹿保健所が新型インフルエンザの大流行を想定した大規模な訓練を民間や公立病院、消防などと連携して植木町で実施したことを管内で3回目だということも挙げてありましたが、確かに上天草市では上天草総合病院でもあったと聞いておりますが、病院事務長、たしかにそうですか。

○議長（渡辺 稔夫君） 病院課長。

○上天草総合病院課長（大窪 直君） 実施しております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 確かにそういう訓練は実際に起きたときにはパニック状態に陥らず、大事なことだと思います。被害を最小限にとどめるためには民間も巻き込んだ訓練も上天草市内でもやるべきだという市民の声もありますが、市のほうではどこまで考えておられますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（松浦 省一君） お答えをいたします。

まず市の取り組みを概略、若干申し上げてから行きたいと思います。昨年の5月に検討委員会を設置いたしまして、関係17課、病院も含みましての職員で構成しまして、7月から通算7回の会合を開催しております。その中で市の対策本部の設置を、それから組織の体制、行動計画の策定を3月中に終える予定で今進めております。その後、職員の行動マニュアルの作成及び関係機関合同による実地訓練等を予定しております。現在、既に防護服のセット、それからマスク、手袋、納体袋等の一部資材を購入したところでございます。また、市民の方や学校、保育園、公共施設等につきましては、基本的知識の講演会や研修会を随時行ってまいりたいと思っています。広報やホームページ等を利用し、市民への周知も図ってまいります。先ほど言われた病院では、既に発熱外来、患者搬送等の訓練も実施をされたところでございます。

現段階での行動計画案の概要を申し上げますと、発生段階を3段階に分類しまして、第1段階を未発生期と海外発生期、第2段階を国内発生期、第3段階を感染拡大期、蔓延期、回復期、小康期としております。

お尋ねの海外で発生した場合どうするのかということですが、国、県からの情報をもとに市の対策本部の設置に向けた準備を開始し、防護服やそういう機材の準備や市民への情報発信を行います。国内で発生した場合、これは総理大臣が発令するわけですが、その宣言を受けまして市長を本部長とした対策本部を設置します。対策班、監視班、防止班、救助班、市民班の五つの編成を考えております。必要に応じまして防災無線を通じ予防策の励行や不要不急の外出、大規模集会等の活動自粛を呼びかけるとともに、学校や保育園、公共施設に対し臨時休業の措置をとるよう指示いたします。

それから県内や近隣市町村で発生した場合、感染拡大期と位置づけておりますが、情報の収集、管理、外部機関との連携など、組織の要としてその対策に当たることにしております。この時点で活動自粛を勧告、発令いたします。人的被害や社会機能への影響を最小限に抑えるために、人の行動を完全に封鎖いたします。

上天草市内でもし発生した場合、感染者は人口の25%と言われておりますので、約8,300人が感染するという推計が出ております。まだ行動計画の具体的な内容は現在詰めておりますので、以上で終わらせていただきます。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 市民を巻き込んだ訓練というのは、いつごろされる予定でありますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（松浦 省一君） ただいま申し上げましたとおり、3月中に行動計画をまとめます。その後職員の行動マニュアルの具体的な計画をもうちょっとつくる必要がございますので、それができた時点で訓練をできたらと考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 新型インフルエンザ対策の対策課というのの設置は考えておられますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（松浦 省一君） 組織として対策課ですか。それは私の方ではちょっと。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 新型インフルエンザ対策課というのの設置というのは考えておられませんか。

○議長（渡辺 稔夫君） 総務部長。

○総務部長（川本 一夫君） 御質問でございますが、今のところは組織の再編を行っております。平成21年度から予定でございます。新しい課ではなくてやはり今の、現在のある課の中でやっていただきたいというのが方針でございます。なお、必要があった場合は協議をすることは定かではございません。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 私は最近、新型インフルエンザ予防マニュアルという、200円、薄いや

つですけれども、アマゾンで買い求めました。この表紙にも最後のページにも新型インフルエンザ対策の第一歩は、知識のワクチンの接種と、そういうことを書かれております。上天草市としましても、この知識のワクチンの接種が必要かと思えます。私も一般質問に当たり、新型インフルエンザについて勉強しています。一般質問するということは自分自身についてもワクチンの接種になっているのかなと思っています。不知火町で台風の高潮被害があり、多くの人たちが亡くなりました。一方で、龍ヶ岳町でも高潮の被害はありましたが、人命に至る被害はありませんでした。上天草水害を経験した龍ヶ岳町では、警報が発令されたら消防団は詰め所に集まり、警報が解除されるまで警戒に当たり、避難誘導され、人命被害はありませんでした。

今、全世界の鳥の間で毒性の強い鳥インフルエンザH5N1型が大流行しています。2003年後半から東南アジア、シベリア、中東、ヨーロッパ、アフリカ北部等、ニワトリ、トラ、ネコ、ネズミ、イヌ、ウサギ、ジャコウネコ、テンなど哺乳類にも感染が広がり、ヒトにも感染し、世界保健機関に報告された感染者数は385名、2008年の6月19日現在で死亡者数243名となっています。先日も鳥インフルエンザが愛知県のウズラ農家で発生したことが新聞やテレビなどで放映されておりました。WHO、世界保健機関による新型インフルエンザの警戒レベルフェーズ区分では、どの区分に来ているか、部長、わかっておりますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（松浦 省一君） フェーズ3の位置だと考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 確かにフェーズ3の位置であって、このフェーズ3というのは私も勉強したばかりでありますけれども、流行危険期というところまで来ているということでありまして、もうフェーズ4まで行ったら世界中に1週間以内に広まるといって来ているということでもあります。

新型インフルエンザ感染は流行危険期に入っております。このフェーズ4になったときに封じ込めがうまくいかなければ世界中に拡大されると言われております。現在、パンデミック一歩手前で新型の発生から大流行までは一瞬だと言われております。特に若い人や子どもさんが感染が多くなるそうであります。学校ではどういう対策をとっておられますか。学校の閉鎖とかどの辺で、例えば隣の県とか国内で発生した場合とか、どうなっておりますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 教育部長。

○教育部長（鬼塚 憲雄君） 学校の対応ということでございますけれども、鳥インフルエンザ、それから今御質問の新型インフルエンザ、二つありますけれども、現在まで鳥インフルエンザにつきましても、文部科学省のほうからも私たち教育委員会のほうに通知が来ておまして、その対策をいろいろ講じております。各学校にはニワトリとか飼育しておまして、年1回学校、保健所で調査をしておりますし、ニューカッスル病のワクチンも2回投与している状況でございます。それから学校内で鳥が死んだ場合ですとか、そういった場合については児童生徒

にすぐ学校なり教育委員会のほうに報告するような、そういった指導をやっております。

それから新型インフルエンザにつきましては、今健康福祉部長が申しあげましたように、私たち学務課の職員もその検討委員会の中に入りまして随時協議をしていると、そういった状況でございます。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 病院ではどういう対策をとっておられますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 病院課長。

○上天草総合病院課長（大窪 直君） 熊本県のほうでは、各保健所単位におきまして新型インフルエンザ行動計画を策定しております。天草圏域では、天草地域新型インフルエンザ対策連絡会議を立ち上げて行動計画が策定されております。その計画の中におきまして、上天草総合病院は外来医療と入院医療の指定病院となっております。

具体的に申し上げますと、疑いのある患者が当院を受診した場合は、発熱相談センターである天草保健所に連絡しまして、第2種感染症指定医療機関であります天草中央病院に搬送することになります。また、大流行したときには、病院横の龍ヶ岳体育館に発熱外来を設置して診察を行うことになっております。また、入院される場合は当院で最大46床まで準備しております。

今の治療薬の在庫ですけれども、2月末現在では、タミフルを20人分、リレンザを30人分在庫いたしております。今度の補正予算におきまして、新型インフルエンザ対策感染防護服の330着の購入費用を今回の補正でお願いしているところでございます。

以上です。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 病院で酸素吸入器とかも足りなくなると私は思うんですけれども、その辺についてはどうでしょうか。

○議長（渡辺 稔夫君） 病院課長。

○上天草総合病院課長（大窪 直君） 今、県のほうで各医療機関あてに何台ずつか配付される予定となっております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 大流行前はワクチンの優先的な接種ということが、私は熊本の人から聞いたんですけれども、接種の優先順位というのがあるそうですけれども、どういう方が優先的に接種されるというか、そういうことはわかっておりますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（松浦 省一君） まだ実際ワクチンにつきましては、現在の段階では感染症の指定医療機関等の職員等で、約6,400人、全国で、それがまだ実験といいますか、抗体の上がり方等の研究がなされている段階で、具体的なワクチンがまだ開発されておりませんで、実際それがもしできたといいたしましても、例えば救助に当たられる方とか、そういった実際行動

をされる方が優先的になるのではないかと私は予想しております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） それについては熊日とかにも優先順位は書かれておりました。私は感染列島という映画を見たことがありますけれども、皆さんの中で感染列島という映画を見られた方はおられますか。本当に私も、妻夫木聡さん、檀れいさんのこの映画を見まして、人権問題、環境問題とか、恋愛とかも入ったようなインフルエンザの発生した状況が手にわかるような映画でありまして、皆さんもできるなら見てほしいと私も思ったところでありまして、部長、見てどうでしたか。見られたんでしょう。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 確かに、鳥インフルエンザではございませんけれども、世界的なインフルエンザ、違うようなインフルエンザの映画でございまして、ああいう事態が発生した場合には、やはり映画のようにすごいパニックになるんだなどは感じました。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 私もやはりそのように。この新型インフルエンザに対しては、上天草市の中では市長が一番、昨年的一般質問の答弁の中では、部長会議の中で市長が取り組むように指示されたということをお聞きしましたが、市長は、私答弁を求めておりませんでした、どのように思われているという。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） 議員の今回新型インフルエンザをテーマにされたのは、実際被害、災害は遭っていないんですけれども、それに備えて準備はしなさいという趣旨の質問だときょう認識しております。

新型インフルエンザについては、現在のところ、はっきりとした兆候はまだないんですけれども、ただ鳥インフルエンザから新型インフルエンザに変わった場合の影響度というのははかり知れないものがございまして、日本全国で大体64万人が死亡するのではないかと想定されております。そのような非常に大きな影響力があるものでありますので、これについては危機感を持って上天草市として対応すべきと考えております。当市ではいち早く職員説明会を行いまして、県下でも多分1番だったと思いますけれども、そういった形で取り組み始めております。現在のところ、いろいろなケースを想定しまして、その対応策を具体的に準備している段階でございまして、先ほど答弁がありましたとおり、健康福祉部、そして上天草総合病院を中心とした、新型インフルエンザに対する対策を行っているところでありまして、市民の皆さんが御心配なさらなくていように新型インフルエンザには対処してまいりたいと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 3月7日の土曜日に新型インフルエンザ対策トップセミナーイン菊池というのが、合志市の市民センターで世界保健機関の感染症対策トップ研究者を招いて開催されますが、職員の皆さんの中で行かれる人はおられますか。わかりました。だれも行かれない

ということですね。なるべくそういう、私も行くようにしておりますけれども、なるべく職員の皆さんもそういう講演会があるときは、市民の皆さんのために行くようにしてほしいと思います。市民の皆さんに知識のワクチンを接種してほしいと思います。

天草への原発誘致についてということで、原子力発電所建設誘致という資料がありますけれども、これは大阪在住の天草出身の方が配布された資料であります。朝日新聞の昨年12月31日の新聞には、関西在住の天草出身者でつくる天草を語ろう会、世話人も名前も書いてありましたが、これに対して天草の心という人が、私に送ってきたんですけれども、ふるさと天草を語ろう会有志一同様ということで、原子力発電所建設誘致案への返信、財政赤字5兆円の大阪府にこそ原発立地を進めるべきではないでしょうかということを書かれて、あなたは原発からの税収と地元住民の雇用で天草の財政健全化を主張されています。あなたの住んでおられる大阪は5兆円の財政赤字を抱えて、財政再建団体転落寸前です。天草よりさきに大阪府に原発建設を提案されるべきではないでしょうかと、そういう皮肉ったことも書かれておまして、やはり事故が起こったときのリスクを踏まえて、万が一の場合の被害を少なくするには人里離れたところがよいのは当然のことであるが、立地条件に書かれています天草においても、被害は立地場所だけにとどまるものではありません。大阪府ではどうしていけないのでしょうか。被害者を島民にとめられるという人口数だけのことでしょうか。大阪府こそ原発のリスクを負って財政健全化を急ぐべきではないでしょうかという、いろいろ書かれております。この天草の原発誘致に対しては、天草市の安田市長はコメントを出されておりますけれども、上天草市の川端市長は、この原発誘致についてはどのように思われておりますか。

○議長（渡辺 稔夫君） まず、企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） この質問につきましては、本市といたしましても、また私個人といたしましても全く聞いておりませんので、どのような内容なものかというものもわかりません。私の認識といたしましては、3月2日に新聞報道で天草への誘致話が載っております。また今議員配付の資料でうかがい知るところでございます。したがって、答弁のしようがないというのが実情でございます。

ただし、私個人的な意見を申し上げますと、誘致建設につきましてはいかがなものかと懸念はいたしております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長、いいですか。

○市長（川端 祐樹君） まず原子力発電所の問題でありますけれども、これは新聞報道された時点で、まずもって率直にびっくりしたというのが第一の感想でございます。この内容について具体的な場所、そして規模、またそれに付随する経済、そしてリスク度合い、そういったものもろのことが全くわかりませんので、先ほど企画観光部長が申し上げたとおり、答えようがないというのが実情でございます。

しかしながら、私の個人的な立場をもって意見を申し上げますと、上天草市にも被爆者がいら

っしゃいます。その方々の心情を考えますと、この天草の地において原発を建設することは、これはいかがなものかということをもっと率直に感じております。あわせて、天草という地は景観のすばらしさ、そして食材の豊富さ、暮らしやすさ、そういった多くのすばらしい点があるわけでありまして、また天草の地から外に出ている方々の多くの方々のふるさとでもあります。そういった天草というふるさとがこういったリスクにさらされるということは、私は個人的には大変残念なことではないかと思っております。それが総合的に考えまして、経済効果がいかにあろうとも、やはり数百万年にわたってリスクが伴うようなものについては、これは建設はできないのではないかと認識しているところでございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 私も安心しました。私の町にも、親戚にも、長崎の原爆で被爆された方がおられます。龍ヶ岳が以前は海運業がさかんで、長崎港の船の上で被爆されておられます。ちょっと私も、昨年知事になられた方は、荒瀬ダムの水力発電所の撤去のときに、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーということで荒瀬ダムの撤去の凍結をされ、知事は今九電の社長とも懇意だという話も聞いており、九電の社長も熊本県出身だそうでありまして、ちょっとこの付近も私は心配しているところであります。

この天草への誘致の話は4回目だそうでありまして、私も若いとき、東京の弁護士事務所にいたとき、羊角湾の閉め切り問題を事務所で扱っていましたので、ああ、そのとき、この羊角湾の淡水化が原発へつながっているのかという、今度初めて知りました。天草の1次産業、農業、漁業、観光にも悪いイメージがつきますし、海水温の上昇にもつながりますので、いろんなところで誘致の動きもあるわけでありまして、上天草市ではぜひとも反対ののろしを上げるべきだと思います。

チェルノブイリの原発事故では、周囲30キロメートル圏内の住民が、13万5,000人が今でも帰れない状態で、消火に当たった消防士200人以上が急性放射線障害になり、29人が4カ月以内に死亡したそうであります。日本列島が地震活動期に入り、大震災必至と言われております。上天草市のそばにも布田川日奈久断層帯という地震源がありますので、ぜひともこの問題については猛反対をしていかなければいけないと思います。

先日、鹿児島県の環境未来館というところに行きました。民主党の九州ブロックの勉強会で行ったわけなんですけれども、鹿児島県の環境未来館には、ガラス窓に海岸で拾った使い捨てライター、青や緑、赤などが敷き詰められ、ステンドグラスのようでした。そのほかただで拾い集められているごみなどを利用した博物館であり、環境学習の場でもありました。小学校、保育園の廃校、廃園跡を利用しての海洋博物館といえますか、環境館といえますか、そういうのはできないでしょうか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 小中学校や保育園統合による廃校跡地を利用した環境館の設置についてお答えいたします。

昨年7月、市職員によりまず上天草市小中学校及び保育園跡地利用検討委員会を発足させ、現在、統廃合後の施設の利活用について協議を進めているところでございます。一般的な利活用の方法といたしましては、御承知のとおりマスコミでも取り上げておりますように、全国的な事例といたしまして、お年寄りや体の不自由な方たちの通所施設、また、まちづくりの拠点施設などが挙げられております。今後、市といたしましては、市民の皆様の御意見と検討委員会の協議内容を参考に、また上天草市の地域性や社会情勢を踏まえながら、統廃合後の小中学校及び保育園跡地の有効活用に努めてまいりたいと考えております。

御提案の環境館につきましては、施設の概要を伺うとともに関係部署との協議も必要と考えますので、その結果総合的に判断した上で整備についての調査研究を進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） あまり財政的な負担もなくできると思います。また、新市まちづくり計画の中にも海洋博物館の建設というのを既存施設の活用も考慮したうえでつくるということも書かれておりますので、ぜひとも前向きに進めてほしいと。子どもたちの環境学習の場にもできると思いますので、ぜひとも前向きに進めてほしいと思います。

4番目に、合併の約束である4町の発展と、均等と書いていますが均衡ある発展ということで質問します。合併の約束である4町の均衡ある発展と松島庁舎建設についてと書いていましたら、私の支持者に、あんたは1庁舎がいいといつも言っていたのではないかとと言われて、ちょっと私も迷ったところでありまして、私も松商問題の愛護会に入っていたら、何か愛護会が終わったら松島庁舎建設の会合がありまして、猪塚先輩は松商が終わったらすぐ帰っておられたんですけれども、私は帰ることができなくて、一応意見を聞いておかなければいけないということで、庁舎問題については聞きました。

私は、合併が始まる前、合併協議会があるときに必ず傍聴に行っておりました。この庁舎問題のときは、今まで何も意見が出なかったんですけれども、庁舎問題に入ったらこの合併が壊れるのではないかと思われるぐらいの議論が交わされました。私はそのころ合併反対だったものから、これで壊れてくれればと思っておりました。合併前の年には島田議員を立てて町長選挙もしました。島田さんたちは負けて万歳をしましたが、私は万歳をできませんでした。私は応援演説の中で、一応上天草市となっているけれども、実際は大矢野町、大矢野市ということで吸収合併だということで私は反対しました。松島庁舎の問題に行きますと、本当にこの合併にかかわられた人たちの怒りは相当なものがあるということを会合の中で私は聞きました。また、本当にだまされたとかいろいろそういう声が松島の、本当に松島の人たちが多いと思いますし、また龍ヶ岳、姫戸のかかわられた人たちはそういう思いがあると思います。

この松島庁舎建設については、私はこの間、阿村地区で松島庁舎が建てられるという話も聞きまして、どうなっているのかと思っておりました。また、私の知り合いが、これだけの不況のと

きである、この不況に合併特例債を利用して財政出動をして今遊んでいる、仕事がない人たちに仕事をさせて庁舎建設を進められたらと、そういう提案を私にされる方もおりましたので、その辺について質問したいと思います。総務部長。

○議長（渡辺 稔夫君） 総務部長。

○総務部長（川本 一夫君） 確かに今議員がおっしゃいましたように、以前から松島庁舎につきましては、つくらないということは1回も申し上げておりません。ただ確かに各タウンミーティングあたりでも相当合併時の約束だからということをおっしゃっております。ただ、今の分につきましては、庁舎問題の建築とそれから景気といいますか、両方の問題だと思っております。松島庁舎問題につきましては、今事務方のほうではほぼ内定しておりますが、平成21年の4月から新たなプロジェクトチームをつくります。その中で、まだ人員体制は決まっていますが、恐らく5名程度から7名ぐらいのメンバーを構成して、庁舎の公共施設の総合的なプロジェクトチームを結成して、すべての庁舎の見直しを行います。その中で当然庁舎建築についても出てくると思っております。

それからもう1点、合併特例債のある間に庁舎建築をということでございます。確かに現在は景気が非常に冷え込んでいることは私も認識しております。ただ、皆様御存じのように学校の耐震化を最優先と考えております。特にその中でも統合して残る学校、統廃合の上で残る学校を最優先に、できる限り早目に21年度から、できましたら24年までにはすべて終わりたいという考えを持っております。当然議員御存じのように、その中にはすべての統廃合後残る学校が相当入っておりますし、金額も相当な金額でございます。そのところをお含みとりいただければ、当然ある程度の景気浮揚対策にはなるのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 庁舎のプロジェクトチームというのはどういうふうによばれるのか、たいこ持ちだけで構成されるのかと私は心配しているところでありますけれども、プロジェクトチームのメンバーというのは、大体どういう人たちがよばれるのかということをお聞きします。

○議長（渡辺 稔夫君） 総務部長。

○総務部長（川本 一夫君） 今のところは具体的に人選はしておりませんが、やはり組織上のトップを一人持ってきて、その中に助言者並びに自分の提案をされる方というのを抜粋して、こちらのほうで選抜したいと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 外部の人というのか、外部からの、市外からの選任というのはないんですか。

○議長（渡辺 稔夫君） 総務部長。

○総務部長（川本 一夫君） 最初は、計画段階まではすべてプロジェクトメンバーは内部と考

えております。なお、やはり必要に応じて、これは大きな市の施策でもございます。やはり先ほど申しましたように公共施設すべてを見直すということが大前提でございますので、当然必要に応じて外部の有識者の意見を聞くことも考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 学校の耐震化に特例債を使って雇用対策ということも言われましたけれども、私の近所にも出稼ぎに行ったりして、お正月からは仕事がなく待機状態の人がいっぱいおられます。仕事のない人たちのためにそういうことも取り組まれたらいいのではないかと考えておりますし、私、1月に東京の姉のところの結婚式に行き、結婚式が東京の自由学園明日館というところでありました。ここは国の重要文化財に指定されているところでもありますし、玄関に音楽ホールを備えた手づくりの、そして有名な建築家が設計されたところがあります。小学校をつくるとなれば、そういうことができるか私はわかりませんが、そういう有名な建築家に設計をさせ、手づくりの木造のしっくいを使ったり、手づくりの木造の学校ができたらいいなと考えております。宇土の四つ角の右側にまごはやさしいという店があります。あそこの床に、ちょうなと言えは若い人たちは御存じないと思いますけれども、ちょうなで削った板が使用されておりまして、昔はかんなどいうのがなくてちょうなで船のキールなどを削っておられました。そういうのも味わい深くていいのではないかと思いました。学校ができて全国からも視察に来てもらえるような、そういう学校ができたらと思います。

また、仕事がない人たちのために、せんだって予算質疑の時間に、佐藤議員がマツクイムシについて空中散布をしてほしいとの話をされておりましたが、私も帰りにちょっと暗かったんですけども、千巖山に登ってみましたら、相当数のマツがやられておりました。私もこのマツクイムシの被害については去年、おとしぐらいからひどいなと思っておりましたけれども、こうまでやられているとは思いませんでした。植木市で買えばこれは1本何百万円もするような、そういうマツの木がばたばたと真っ赤になって倒れております。こういう、佐藤議員は空中散布ということを言われておりましたが、私はこの空中散布については以前から反対しておりますし、空中散布ではなくて人間の手を使ったこういう伐倒焼却の事業ができないかということをお聞きします。

○議長（渡辺 稔夫君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山下 幸盛君） 現在、地上散布による駆除をやっておりますが、確かに地上散布ではすみずみまで行き届かないところがございます。それと伐倒駆除についてもあわせて現在も行っております。ただ、先ほど申しましたように、すみずみまで行きわたらないところもありますので、伐倒駆除のできる限りの駆除はしていきたいとも考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 景気対策のためにも――。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣議員。北垣議員に申し上げます。通告外の質問でありますので、通告どおりに、議題に沿ってお願いいたします。

○9番（北垣 潮君） ちょっとそれでしたけれども、景気対策のためにも、確かに100年に1度の不況と言われておりますけれども、本当に100年に1度かと、昔は山に行っても海に行っても魚がとれて自給自足もできた時代でありまして、今はお金がなければ何もできない、税金も高い、水道代も高い。本当にやっていけるのかと、昔と全然違うと思います。

通告に沿って、あと合併で寂れた姫戸町、龍ヶ岳町については、どのような対策を進められるか、姫戸町、龍ヶ岳町の再生のために何とかしてほしいという市民の声がありますので、その辺をよろしくお願いします。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 皆さん御承知のように、16年の3月31日に4町で合併をいたしまして、2庁舎2支所方式に伴いまして支所職員は当然ながら減員となっております。合併当初から龍ヶ岳町、姫戸町におきましては、市民皆様への事務対応につきましては、本所へ出向くことなく一通りできております。現在も合併前と同様の意識を持って迷惑をおかけしないように対応、努力をいたしております。

議員御指摘の、役場がなくなりまして寂れてしまったということにつきましては、各個人のとらえ方もあるかとは思いますが、市職員、市民の方、すべての方がそう思われているかとは言えないと思っております。一つの例を申し上げますと、市が推奨しております13地区のまちづくりがあるかと思っております。地域をこれからどのように進めていくか、市民お一人お一人の意見がどう代弁できるか、その機能を持った地域自治が必要だと思っております。

自主自発の住民のボランティア参加、積極的な市政参加、こういうすべてのものを網羅したものがまちづくりと思っております。13地区のまちづくりににつきましては、17年からスタートいたしまして、徐々に効果が表れておりますけれども、議員地元の龍ヶ岳町大道地区では手づくりの朝市というのがあります。開店前から並んでいる人もおまして好評を得ているという状況だと聞いております。月1回だったんですが、地元の方々から回数をふやしてくれという要望もあり、今は2回開催している状況でございます。また、マツの名勝地だったところを国道改良に伴ってマツが1本もなくなったという事例がございましたので、その跡地に地区住民総出で草刈りをしてマツを植えたという事例もございます。また、姫戸町の二間戸地区では花づくり事業に着手をいたしまして、お年寄りから子どもまで参加し、見事な花壇づくり、また花づくりがされております。菜の花も植えられまして、その花から菜種油の搾取、家庭での料理、廃油を利用し、またEM廃油石けんづくりというすばらしい計画を持っておられます。こういう地域の特色に応じた住民自治、無理のない継続性のある事業、住民活動があれば、議員がおっしゃる寂れたという感覚は払拭するのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣君。

○9番（北垣 潮君） 確かに13地区のまちづくりが進められているところは何か活気があっていいところもあります。私が言いたいのは、役場がなくなったということは大企業が地域

からなくなったと、そういう感じで、大矢野、松島は大きい役場がありますのでそうでもないと思いますけれども、もし、考えてみてください。龍ヶ岳、姫戸に本庁舎が行ったと、そういう頭で考えた場合、本当に厳しいものがあります。天草市のほうでは周辺の町が多いので、周辺の町に適正に気配りをされておりますけれども、何か姫戸町、龍ヶ岳町というのは、その辺がちょっと薄いのではないかという市民の声があるわけでありまして、何とかしてくれと、そういう声もいっぱいあるわけでありまして、何とかもっと上天草市の発展が均衡になるように、龍ヶ岳町に庁舎を持ってこいというわけで、今は私は言いません。確かに合併協議会のときは龍ヶ岳町に持ってくればと言ったら非常識なということで笑われましたけれども、龍ヶ岳町はもうほかの面で、観光面に力を入れるとか、そういう計画はないかということをお聞きします。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 一応、今御指摘ございましたけれども、大矢野町のほうは人的中心地、また松島町におきましては4町の地理的中心地ということでとらえております。姫戸、龍ヶ岳地区につきましては、合併の当時から、中心から外れたという形で当然といえますか、どうしても取り残されたという観念がございます。この合併に伴うそのような状況でございますので、何とか均衡ある発展をということで北垣議員のほうから御指摘がございますけれども、この合併に伴うそこら辺のリスクはどうだろうかと、そこら辺は必然的に発生してくる問題ではなからうかととらえておりますけれども。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣議員、残り時間少なくなってきましたから簡素に質問をお願いします。

○9番（北垣 潮君） では活性化策はないと、今のところは再生はもうないということですか。龍ヶ岳町の樋島と高戸の間に櫛島というところがあります。これはある人がぜひ言ってくれということでありましたので言っていますけれども、商工会が建っているところでありまして、そこでは過去に龍ヶ岳町の職員が翼竜の化石、飛ぶ恐竜の化石ですね、それを発見されて、御所浦町より先に発見されたところでもあります。そういうことも生かした環境学習の場というのもできればと思います。休みになると大型バスが何台も連なってとまっているところでありまして、地域再生にもつながっていくのではないかと思います。また、樋島というところには、昔、頼山陽という人が船から揺られて樋島の魚はうまいということも書かれた歌もあるわけでありまして、そういう歌の碑を建てることはできないかと何回か私も提案しておりますけれども、企画観光部長、その辺についてはどうでしょう。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 今御指摘にありました各町の特色を生かした活性化策を今後検討していきたいと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 北垣議員。

○9番（北垣 潮君） 各町の活性化策をぜひとも頑張って、期待して私の質問を終わります。

○議長（渡辺 稔夫君） 以上で、9番、北垣潮君の一般質問が終わりました。

ここで、10分間休憩いたします。

休憩 午前11時01分

再開 午前11時11分

○議長（渡辺 稔夫君） 休憩前に引き続き再開いたします。

15番、田中豊八君。

○15番（田中 豊八君） 議長の恩を受けて一般質問を。3月、私も1年間一般質問をしてきて、樋島漁協の債務保証の問題に対して一生懸命頑張ってきて、私も一般質問、市民の声を言うわけでございますけれども、私も一般質問ではないけれども、特別委員会が平成16年に起こった中で4年間、そして私が一般質問を1年間した結果を、きょう、私も最後の質問になるかと思っておりますけれども、執行部に結果を聞きたいと思っております。本当に今まで私も、3月から最後の3月まで、ことしの3月、12カ月間の間に執行部がどれだけ努力しておられるか、また樋島漁協組合長初め、また組合員の二人も議会におられるわけでございますけれども、どのように進展があつて、どのように顧問弁護士あたりと相談ができて、一生懸命頑張つてこられたかという観点を質問いたします。

まず市民の声として、今回の市民の皆様の大変な税金を1円も払ってはいけない観点から1年間の質問をしてきた樋島漁協債務保証問題について、まずは市民の皆さんから市議員への要望が起きましたとおりでございます。それを読んでいただければわかると思っておりますけれども、質問を今から部長に、山下部長、あなたもことしで最後のあれで、3月議会を終わればもう4月は退職をするわけでございますけれども、最後の締めくくりとして、この債務保証問題がどのように結果が出ているかということ、1点目、話が飛びますけれども、組合長としての樋島、組合長が、そして理事、どのような話になって今までこの2カ月間、1月、2月の間に動きがあつたか、その報告をひとつ聞きたいと思っております。どうぞよろしく。

○議長（渡辺 稔夫君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山下 幸盛君） お答えいたします。私も4月から現職についたわけでございますが、この1年間、減額に向けてできるかぎりの努力をしてきたつもりでございます。まず12月議会以降の取り組みについて御説明をいたします。20年12月16日に熊本県漁業信用基金協会の会議室におきまして損失補償金の支払い期限について協議をいたしておりますが、現在協議中でございます。また、1月23日、損失補償金の支払い前に漁協が自己競落をいたしております担保物件を市が取得することは可能か、また支払いの前に転貸債務者と連帯保証人へ求償することは可能か等について顧問弁護士と相談をいたしております。

その後、2月3日、またこれは京町の法律事務所においてでございますが、再度自己落札した物件の譲渡や転貸者、連帯保証人への求償金の確認並びに支払い期限の延長等についてできないか相談をいたしました。2月18日、これは組合長、樋島漁協へ自己競落した担保物件の早期の処分による信用基金協会への支払いの催促とB氏の計画的な支払いを再度お願いいたしております。

す。また、これにあわせまして担保物件の処分ができなかった場合、市への物権の譲渡の確認、転貸者の残債権、財債権、連帯保証人への説明の依頼もしております。さらに自己競落時の裁判所への代金の入金についても確認しましたが、供託金以外は入金していないとの回答を受けたところでございます。また、同日でございますが、自己競落した場合、代金は裁判所へ納めなくてよいのか顧問弁護士と相談をいたしました。これにつきまして、民事執行法第78条の4項において、実際に納める必要はないとの弁護士からの回答でございました。

また、樋島漁協から、これはきのう報告を受けたわけでございますが、36万7,800円を支払ったという報告を受けております。この結果、残債務額は5,605万6,900円となっております。以上のような取り組みをしてまいりました。

今後でございますが、現在協議中である支払い期限までに樋島漁協が落札した担保物権の処分について、償還の充実に市が積極的に指導していきたいと思っております。また、B氏におきましては、現在は不定期的ではございますが、返済をしておられますので、これも計画的な返済をお願いしているところでございます。損失補償額の減額にこれからも進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

○議長（渡辺 稔夫君） 田中君。

○15番（田中 豊八君） 損失補償問題は、私も前、3月、6月、9月、12月、また3月とやってきたんですけども、36万7,000円ですか、これはいつも入っているわけですね。

○議長（渡辺 稔夫君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山下 幸盛君） 今回が4回目でございますので、年4回の支払いになっております。

○議長（渡辺 稔夫君） 田中君。

○15番（田中 豊八君） このくらいの金額というのは本当に五千六百数十万円の金額が残っているわけでございます。また樋島の組合長は、19年度には市町村には絶対に迷惑をかけませんという感じを受けているわけでございますけれども、私が一般質問をこれだけやってきた中で全然進展がないと。執行部の怠慢なのである。執行部の怠慢は市長の怠慢。私はそう感じますけれども、市長、どのように感じていますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） これは法律等の運用に基づいて、損失額の確定作業並びに当市がどれだけの額を補償するのか、そういった点を弁護士、また裁判所を通じていまして、慎重に作業を進めているところであります。具体的に進展がないというお叱りを受けておりますけれども、この作業は時間がかかりますが慎重に進めさせていただきたいと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 田中君。

○15番（田中 豊八君） 市長、私もこの一般質問で本当に言いたくはないところであるわけですけども、やはり私も市民の代表として何回も言っているように、市民の税金で我々議員団、執行部、市長、みんなすべてが税金でまかなってきているわけなんです。本当に樋島漁協

の誠意というのが全然見当たってこないというのが私に通じてきているわけです。また督促状も去年2回来ています。ですね、部長。2回来ています。ことし来ていますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山下 幸盛君） 年明けてからは来ておりませんが、現在まで2回でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 田中君。

○15番（田中 豊八君） 去年2回も来ていて、それでやはり樋島漁協はこの1年間、何回もいいますけれども一般質問している間に、やはり組合長初め理事、保証人の皆さん方の誠意が全然私には伝わってこない。市民の皆さんが、豊八さん、こうした税金を使うよりほかに使うところがいっぱいあるだろうと。いろいろな滞納、税金の滞納、水道の滞納、いっぱいございます。そしてまたこういうことになってくれば、市民から、あんたたちは市会議員だろうと、何をしているんだと、市会議員は要らないのではないかとお叱りを受けるわけです。困ったことばかりしているなど。市は大変でございます。みんなすべてをカット、カット、予算もカット、すべてカット。そして滞納、滞納。そして樋島漁協のこの問題。出してまだまだあると思います。

私は、組合長は市会議員でもあるし、そこは言いたいことはございません。でも、組合員も島田議員もおられます。この人たちが一番物事は何でもわかっているはずなんです。私は1年間この問題に携わってきて、その3年間の間に何一つなかった。私が見てこれは大変だと、市民からお叱りを受けて私が一般質問に立ったわけなんです。こういう問題がもう本当に、金は半分でも払ってはおられるのかと、財産処分してきちんとしておられるかと私は期待してこの一般質問をしているわけです、実際に言うと。それも何も進展がない。これはずっと進展がないのではないか。市長も一生懸命議員の、桑原議員とは親しい仲にあるという感じで私は認識しているわけですが、本当にこの問題に対してはいつも私も暴言を吐いていたわけですが、これは最後に、もう私も余り言いたくございません。市議会議員として、これは議長、政治倫理とかこういう問題、どのような感じ、観点でとれるわけですか、議長に聞きたいんですが。

○議長（渡辺 稔夫君） だれの問題といたしますか、局長のほうからお答えします。

○議会事務局長（村枝 誠二君） 突然で申しわけございませんけれども、それは私のほうから御説明したいと思います。

本市の政治倫理条例につきましては、平成16年の3月31日に合併後、同年の12月の定例会の折、議員発議といたしまして提案され、全会一致をもって可決がなされたところでございます。その目的は市政が、市民の厳粛な信託によるものであることを認識し、議員及び市長が市民全体の奉仕者として人格と倫理の向上に努め、いやしくもその地位による影響力を不正に行使して自己の利益を図ることのないよう必要な措置を定めることにより、市政に対する市民の信頼にこたえとともに、市民が市政に対する正しい認識と自覚を持って、公正で開かれた民主的な市

政の発展に寄与することとして条例を定めたところでございます。また、議員及び市長におかれましては、政治倫理の責務、政治倫理基準などを明確に定めていることは議員の皆様御承知のとおりでございます。

なお、ただいま田中議員の樋島漁協損失補償問題で組合長が政治倫理に触れるのではないかの件につきましては、漁業協同組合は地方自治法第96条第1項第14号で公共的団体として定められております。本市の政治倫理条例は、議員及び市長に対しての政治倫理条例を定めているものでございますので、したがって、樋島漁協損失補償問題での組合長が政治倫理に触れるものではないと私は解釈をいたしております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 田中君。

○15番（田中 豊八君） はい、わかりました。では、ここで私も今度また4月から議員の皆さんと一生懸命選挙で戦って、一生懸命みんなと分かち合って、これをもう1回出てきたときには100条委員会でも開いていただくと、そして協議をしたいと思っております。

私はこれくらいで一般質問をきょうは終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

○議長（渡辺 稔夫君） 以上で15番、田中豊八君の一般質問が終わりました。

ここでお諮りいたします。引き続き時間を延長して一般質問を続けたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（渡辺 稔夫君） 御異議なしと認めます。よって、引き続き一般質問を行います。

8番、山口安彦君。

○8番（山口 安彦君） こんにちは。8番の山口でございます。ただいま議長からお許しをいただきましたので、私、一般質問を始めたいと思いますけれども、さきの田中議員のほう時間が大分余らせてされました関係上、私たち議員もちょうど忙しい時期でございますので、おろそかにするという意味ではございませんけれども、時間を有効に活用するという見地から、私が引き続いて時間を合理的に使わせていただいて質問をしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

それでは、通告は3点しておりますので、きょうお昼前の、少し後ではおなかもすかれるかと思っておりますけれども、私もスピーディーに3点について質問してまいりますので、よろしく御答弁のほうお願いしておきます。

まず第1点、市長の施政方針の中から経済振興部の役割についてでございますが、私は1年前の3月議会におきましても市長の施政方針について伺っており、経済の振興を議題に質問しております。私なりに1年間を振り返ってみますと、昨年、平成20年度は原油の高騰、中国オリンピック経済の終息、さらに9月のアメリカのリーマン・ブラザーズの破綻に端を発した世界的な経済の混乱といえますか、マネーゲームと实体经济のはざまの中で、日本も大変な1年であったかと理解をしておりますし、まだまだそのことが尾を引いておりまして、私たちの上天草市にお

きましてもさまざまな産業、あるいは事業におきまして市民生活にとりましても大変その影響を受けているところでございます。そういった中で、今回市長の市政の方針の中で、組織の再編をされた経済振興部が、企業誘致課と商工観光課、また農林水産課と一体となりまして経済の振興を図っていかうということで、市長の強い意欲と、あるいは戦略を感じているところでございますが、改めて市長に伺いますけれども、その考え方といいますか、所信について、一応あれで読みましたけれども、この場をかりまして改めまして市長にお伺いしたいと思います。

○議長（渡辺 稔夫君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山下 幸盛君） お答えいたします。

農、漁、食、観光の連携、融合を図る具体策ということでございますが、イメージアップ戦略の一環としまして、上天草市の食材を使った大都市圏での上天草市フェアの開催や、食材直送の企画やインターネットを活用した市特産品流通システム、これはぐるなびでございますが、の構築なども計画しております。このような事業を活用しまして上天草市の農、漁、食、観光の産業を連携、融合させた市独自の農商工連携による新たな付加価値、上天草発というブランドの確立、また1次産業の振興のほか、全産業的な展開を経済振興部として農林水産課、商工観光課、企業誘致課を連携し、雇用創出も含めて地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 改めて市長にお伺いをいたします。再編された意義あるいは目的について、ただいま部長のほうから少しありましたけれども、もっと高いレベルで市長の御答弁をお願いしたいと思います。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） これまで企画観光部と農林水産部、今経済振興部になっておりますけれども、二つの部に経済を担当する課がそれぞれ配置されておまして、行政運営の中で非効率な部分が多々ございました。そういった部分をまず払拭するために、このたび組織再編を上程しているものであります。農林水産課、商工観光課、そして企業誘致課、この3課を中心とした経済振興部というのが立ち上がります。このことによりまして、1次産業、また3次産業の部分であります観光の部分、そして企業誘致はすべての産業を網羅しますけれども、1次、2次、3次のすべての産業にわたりまして市の取り組みが一体とできるという点で経済振興部を運営していきたいということで組織再編をいたしております。

でもこのねらいは、もう率直に経済をどうにか建て直すということでございます。今後はこの3課が連携をとりまして経済振興部長の指揮のもと、これまで以上の事業展開が図れるものと期待しているところでございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） ありがとうございます。要するに財政改革下の状況下におきまして、振興に向けた多大な予算は組めないということは私も十分わかっておりますので、今回の組織の再編というものが非常に的を射たといいますか、市の経済の活性化に向けた本当に市民が納

得するような組織の再編であったかと理解をしておりますし、また期待もしております。

またそういった中で、先ほど山下部長のほうから御案内もありましたし、先日あるいは先々日の議会の一般の質問の中でも経済の振興に対しては、何人かの議員の方々が質問されておりましたので、内容については余り、私は時間の関係もありますので問いませんが、要するに市長がただいまおっしゃられた中で、連携と創出をキーワードに現在の時代背景を考えられて実行されると思いますが、特にそのことに対して取り組む中で、特に一番大事なものは、事業を進めていく上で何だと思えますか。市長にお伺いします。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） 私は情報が一番大事とっております。企業誘致も情報ですけども、いろいろな仕掛けをする上でやはり情報が一番大事ではないかとっております。今現在どういうものが売れているのか、またどういうのがはやりそうであるのか、そういった情報に感度を高くして、アンテナを高くして職員の方々には取り組んでいただきたいとっております。

それとあわせて、そういった情報をもとにしてのやはり企画力、構想力というのが大事だと思っております。これからぐるなびとの連携を図って、新しいやり方のもと流通業務を拡大させます。それと商工観光課内において現在、天草四郎のキャラクターづくりが進んでおまして、非常にいいデザインが今でき上がっております。こういった新たなイメージ戦略をつくりながら、農業、漁業、そして観光、また複合的には食というテーマのもと、いろいろな形での事業展開を図っていきたいと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 私も情報をいかに処理するかとあわせて人材だと思っております。企業誘致、それと地場の産業振興、今回の予算の中身を見ても企業誘致は非常に時代背景も厳しい中ですので、一応地場の企業等の支援等もあわせてコラボでやっていくということで数字も出ておりますし、そういった思いが伝わってきておりますので、大變的を射ていると思っております。

しかしながら、再編された今度の新しい中で、やはり県、あるいは企業はもとより外部や現場とのコミュニケーションは非常に大切なセクションでありますし、政策の立案あるいは事業展開能力が求められる事業課でございます。そろそろ市も定時の職員の異動の時期だと思っておりますけれども、どの部署も決しておろそかにできない部署でございます。再編の趣旨、目的あるいは役割から、特にすぐれた人材を配置していただきたいと思っておりますけれども、その辺の構想があれば、また市長に重ね重ねでございますが、お伺いしたいと思います。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） 人材の手当てでありますけれども、このたび職員の交流というのをを行います。経済振興部に2名、熊本県から来ていただきます。また当市からも、そのかわりに2名熊本県に出します。具体的に言うと、観光業務を中心とした配置、それと農林水産業務を中心とした配置を現在のところ計画しているところでございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 県との人事の交流とか職員の派遣等も考えているということでございます。本当に役割というものの裏側には、市民あるいは関係者の期待というものを多大に背負っているかと私は理解をしておりますので、本当にこういう難しい時代でございますけれども、やはり地の利といいますか、地に足をつけたさまざまな事業の展開あるいは地域の活性化に向けて、職務遂行に当たっていただきたいと思っております。

内容については予算書あるいは市長の姿勢の中でさまざまに感じるところがありましたので、もう質問はしませんけれども、最後にこの3月で定年をしていかれまます山下部長には、本当に1年間事業課の部長として御苦労があったかと理解をしております。

最後になりますけれども、何か経済振興に対しての置きみやげとか愚痴でもあれば、一言二言で結構でございますので、この場で申しただけであれば気も晴れるかという思いもしております。よろしく願います。

○議長（渡辺 稔夫君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山下 幸盛君） 議員の皆様方には大変お世話になりました。また、一般質問のたびに大変かわいがっていただきまして多くの質問も受けたところでございます。大変ありがたく私も受けておりまして、今後の、老後といいますか、今後の生活に生かしていきたいと思っております。

また仕事面につきましても、ただいま田中議員から一般質問もございましたが、大変大きな問題も心残りがございます。また、経済振興部として振興策を図ってまいりましたが、まだ多々のし残しが残っております。このことが大変私も心苦しいところでございますが、今後議員の皆様方と執行部が一致団結して市の経済の発展に尽くしていただければと思っております。

以上です。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） それぐらいでいいですか。

○経済振興部長（山下 幸盛君） はい。

○8番（山口 安彦君） それでは次に入りたいと思います。

既に皆さんは御承知のとおり、私は新幹線の全線開通に向けた質問ということで、いろんな角度から再三質問を行っておりますけれども、先日は新幹線プロジェクトの産業振興部会と言う部会で、市長も出席をしていただきました。新市街のサンロードという通りがありますけれども、その一角を借りまして2月の25日に上天草の物産の宣伝といいますか、イベントで、総勢十四、五名程度で行ってまいりました。ずっと福岡を中心にやっておりましたけれども、やはり近場をもうちょっと宣伝するのも必要ではないかという観点から先日行きましたが、市長にも陣頭に立ってはっぴを着ていただいて販売に協力をしていただきましたので、大変ありがたく思っております。

そういったことでございますし、地域にとりましても天草五橋の開通以来、本当に観光の大き

な転機になるやもしれないような新幹線の全線開通でございまして、御案内のとおり、鹿児島県におきましては、新幹線効果が地域の活性化に非常に大きな、多大な役割といたしますか、経済の振興に寄与しておりますし、また仕掛けとしましても、大河ドラマ等で鹿児島を売ったというような、いろいろな絡みがあります。また、そういった柳の下のドジョウを追うように、どこも長崎とかいろんなことで考えておられることで、今、観光にそれぞれの地域が、一番手っ取り早いものですから、非常に観光振興というものに力を入れているというような事情がございまして。

そこで私たち地域振興協議会だったですか、新幹線プロジェクトの、今五つの部会でわかれていますし、施政方針の中にも五つの部会と協調しながら進めていくということで書いてありました。

私の考え方を申しますと、五つの部会がありますけれども、最初プロジェクトが13あったんですね。それを五つぐらいに集約して五つになしたわけですけれども、要するにそれぞれの部会でいろんな形でやっておりますが、なかなか目標点といたしますか、何を本当にしなくてはならないのか、何が本当に一番大事なのかという、的を射たといたしますか、その辺がなかなかジレンマがあるということも実際今感じております。

そこで、あと2年後、2011年には、もう3月ということでJR本社の社長から、この前3月という明言をされたと報道されておりました。本市におきましても、観光というものには市長がかねがねおっしゃられておりますけれども、基幹的な産業であるということにはもう間違いのないということで私たちも認識しております。

そういったことで、21年度はそれに向けた例えば宣伝費とか、本市を対外的に大々的に売っていくような予算というものは余り見受けておりません。もう私は22年の話をしますけれども、事業年度として再来年度には相当な予算化をしていただいて、当然上天草市の宣伝をいろんな形でやっていただきたいと思っておりますが、そういった考え方は、市長はどう思われますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） お答えいたします。

先ほどからあっておりますように、23年度から九州新幹線全線開通でございまして。その取り組みといたしまして、先ほど山口議員から言われましたように、市と民間団体によります上天草市地域振興協議会が設立されております。その中身は、人とアクセス、おもてなしと元気なツーリズム、スポーツと文化、住みたい・行きたい・美しい上天草、それから産業推進の五つの部会にわかれております。市の特性を生かした取り組みを行いまして、観光客誘致や地域の振興、発展に結びつけようと活動を行っております。各事業の内容につきましては省略いたしますけれども、九州新幹線全線開通によりまして、福岡、中国地域、関西地域等への交通利便性が飛躍的に向上することになります。新幹線が来れば何かが変わると、何も手を打たないで待っているだけではやはり何も変わらないと思っております。全線開通の効果を最大限に高めるために、やはり官民一体となって一人一人が我がこととして考えまして、地域を挙げて取り組むことが大切だと思っております。

J R新熊本駅舎には物産の販売ブースや情報発信のコーナーも設けられると聞いております。天草を売り込む前線基地として何らかの取り組みができないかということも模索をしております。

また、この4月からJ R三角線を基点といたしまして、三角港から松島の前島栈橋を経由しまして本渡港へつなぐ定期航路が運行されます。新幹線で一気に熊本入りした観光客をスローなローカル線、それからゆっくりした船旅という企画で天草の魅力アップに寄与できるのではないかと期待をいたしております。

九州新幹線の新大阪と鹿児島を走る直通列車の名前がさくらに決まったそうでございます。これは先日申しましたけれども、奇しくもサクラは上天草市の市花でございます。これも何かの縁だと思ひまして、さくらイコール上天草市というイメージ戦略を使ったらどうだろうかと思っております。

予算につきましては、まだ十分な手当てができておりませんが、今後執行部、財政等も含めながらこれにつきましては検討を重ねていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） わかりました。一応方向性というものは今部長のほうから説明を受けましたが、財政課長にちょっと聞いていいですか。済みません、突然で。唐突な質問ですが、財政再建下でなかなか思い切った予算の集中というものができないとある程度は理解しますけれども、市長がかねがね申されておりますように、スピーディーに選択と集中ということでタイトルをつけながら頑張っておられます。そういった観点から財政課も市長の特命によりましてそういった予算措置というものはできませんか。22年度です。

○議長（渡辺 稔夫君） 財政課長。

○財政課長（永森 良一君） お答えいたします。

御存じのとおり、現在我が市は財政健全化のためのさまざまな施策をやっております。いつも申し上げますが、この5年間に50億円の予算のカットを図ってまいっております。そういう中で非常に強固な財政基盤が築かれているかといいますとそういうわけではございません。ただおっしゃるように、機に応じて、やはり財政出動を要するのであれば、市長の最終的な判断のもとで当然すべきであろうと。そのためにも先日も申し上げましたが、1年でも早く予算の質を高め、政策的な予算を確保することがまず先決であろうと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 先日課長から5次査定までしましたということで、非常に予算の査定に当たりましては御苦労いただいていることは私も理解をしております。ただ俗に言う、魚を釣るためにはえさをまかないと魚は釣れないということでもありますので、その辺のことをやはり今だけ、財政というものは毎年毎年いろんな指標とか措置、目標がありますので、その辺は十分に配慮していく必要が当然あります。

ただ、そのことだけではありませんけれども、そのことに集中しすぎると時機を逸したりとか、

後で後悔をしたりとかする部分もあります。今民間の方々が私たちも非常に交流がありますし、今何を求められているかということは、今私たちも、市民も我が市だから、孫子のために我慢して市の財政再建に協力しなければならないと。ただ、経済の振興というものは同時に絶対図ってほしいというのが皆様方の意見でございますし、本当に過疎化の中で人口が減って、若者が就職するところがないような本当にこういう状況下にありますけれども、そういったこともかんがみて、財政課長には特にお願いをしておきますが、その辺をもう少し理解をしながらさらにお願ひしたいと思ひます。いかがですか。

○議長（渡辺 稔夫君） 財政課長。

○財政課長（永森 良一君） 御指摘の点は非常に重く受けとめております。きょうこの場で、この議場で御指摘を受けて私が認識したわけではございません。先ほど申しましたように、この5年間財政再建のためにやってきたことによって、一部では負の部分も出ております。今後の財政運営については、この負の部分踏まえて、今後どういう形の運営が一番いいのか、あるいは市民の皆様が何を望んでいるのか、ここら付近を十分把握しながら財政運営をしていくことが最も肝要なことだと思っております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） ありがとうございます。それではこのことは市長にも課長にもそれぞれお願いをしてから、次に進みたいと思ひます。

次に地域公共交通についてですが、このことにつきましては、今回も窪田議員あるいはほかの議員が質問をされましたし、また議会に対して陳情書も二つの地域から出ておりましたので、私はもう一つの点についてだけお伺いしたいと思ひます。12月にこのことで質問しておりましたので、企画部長にお伺いしますが、私は前回、バスに乗ってから事情を把握してみないですか、検証してみないですかということちょっとお願いをしましたけれども、乗ってみられましたか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 大矢野地域を回っております循環バスでございますけれども、実はおととい乗降調査を実施いたしました。やはり乗ってみましたところ少ないという現実でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 陳情書の内容につきましても、非常にコース、あえて時間のお願ひということで上がっておりますけれども、市民にアンケートをとられるということでちょっとお聞きしておりましたけれども、その時期はいつなんですか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 一応乗降調査関係でございます、済みません、アンケート調査でございますけれども、大矢野地区の全区長さん並びに無差別抽出で約1,000人の市民の方々に調査の依頼を現在いたしております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） それは結果というか、アンケートの調査がまとめられるのはいつぐらいの予定ですか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 一応今月をめどに予定をしております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 今月それがまとめられるということであれば、また近々に地域公共交通会議が予定されておりますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） そのアンケートをもとに地域公共交通会議を開催するかということでございますけれども、私が聞くところによりますと現在のところでは予定をしております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） それではアンケートの結果といたしますか、そういった資料というものが直接利用される機会がまだ設定はしていないということですね。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 調査をもとに検討を重ねまして、必要があれば地域公共交通会議を開催したいとは考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） それでは一つ提案といたしますか、お願いですけれども、私もちょこちょこ宮津のバスターミナルに心がけて通った折には運転士さんと話したりとか、乗降の状態とかを見ておりますけれども、部長が体験されたとおりの結果と私も認識しております。しかしながら、地域の本当に唯一の公共の交通機関としてのその役割といたしますか、使命といたしますかは非常に大切な手段でございます。

また高齢化社会の中では何よりも、経済的にも安価で利用しやすい市民の足でございますので、その辺は十分公共交通会議の中でも当然配慮しながら、路線やダイヤの改正等には取り組んでいただきたいと思いますけれども、ころころ、これがダイヤを変えたりとか、路線の変更というのはそう簡単ではないとも聞いておりますので、要望書あるいは陳情書が上がっております。

どのような取りはかりになるかはまだまだ未定ですけれども、実は私はそのことで一つお願いをしておきます。今度は下島地区の実証試験といたしますか、あれが10月から始まる予定とお聞きしております。できれば、私たちの大矢野町とあちら側がダイヤの連携をとれて、今松島地区から大矢野高校に通学生が何名か来ておられます。大矢野の回りが逆に回れば、宮津まで来なくても、宮津の駐輪場から大矢野高校まで自転車で通学しなくても、バスで乗り入れられるのではないかという意見とか要望も聞いておりますので、その辺もできればあわせ持って検討していただければ幸いです。よろしく申し上げます。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 一応大矢野地区のほうは再編が終了いたしましたので、今度松島、姫戸、龍ヶ岳地区を運行する路線バスにつきましては、現在下島、本渡のほうが先端になりますので、運行主体でございますバス業者との協議、また天草2市1町、本市も含めたところでの担当者の会議などで調整を行いながら、先ほど言われましたように、ことし10月1日が再編準備で、それをめざしているところでございますけれども、その中できちんとした当市の考え方を示しながら上天草市民にとってより利用しやすい形態での再編を目指していきたいと考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） よろしく願いしておきます。それではこのことにつきましては今部長のほうから説明、御答弁がありましたのでよろしく願いしておきたいと思えます。

それでは時間も急いでしろということで、皆さんの顔色を見ておりますと感じますので、次に3点目に入らせていただきます。スパ・タラソ天草の運営の管理についてということでございますけれども、私はこの題目を、タイトルをこうつけていいかということも少し迷いましたが、ざっくばらんにお聞きしたいと思っております。

実は12月議会におきまして、新しい指定管理者になれる企業体が略称PBJということで、21年度から5年間管理者に選定をされたところでございます。また、先日いただきました資料を見ますと、本当に立派な事業計画を提示され、スパ・タラソ天草のコンセプトを十分に理解をされて、これまでと変わり民間のプロの企業体のお手並みを私も心待ちにして、期待も半分しているところでございます。

聞くところによりますと、先日、関係のある納入の業者や、あるいは従業員の方々に対する説明会があったとお聞きをしておりますけれども、できればわかる範囲で結構ですが内容について何かキャッチしておられますか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） スパ・タラソ天草の運営に関しましては、今月までが株式会社おおやのでございます。その中で市内、市外、また県外を含めました72社と契約をされております。21年度、来月からになりますけれども、管理者となりますスパ・タラソ天草管理運営共同企業体では、一応現在契約されている、先ほど言いましたように72社への説明会を2回開催いたしております。この説明会に出席された特に地元業者につきましては、優先的に納入契約をしていきたいというような報告がっておりますし、株式会社おおやのとの事前打ち合わせの中でもまた従業員につきましては、現在雇用中の職員につきましては、できる限り雇用を継続するという報告も受けております。また業者への対応につきましては、可能な限り地元業者との契約を進めていくと。それから市民や利用者のニーズに合ったサービスを実施していきたいという報告も受けております。

以上でございます。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番(山口 安彦君) 今度、上天草市交流センタースパ・タラソの管理運営にかかわる協定書の調印が今月26日に予定しているということでお聞きをしておりますけれども、先日ちょっと部長からお聞きしたところによりますと、この内容が少しもしかすれば変わるかもしれないということでお聞きしました。その中身についてはたいしたことはないですか、まだ未定ですか。

○議長(渡辺 稔夫君) 企画観光部長。

○企画観光部長(村田 一安君) 一応3月の26日契約をするということで、私のほうには通知が来たばかりでございます、契約の中身につきましてはどうなっているかというのは申しわけありませんけれども存じておりません。

○議長(渡辺 稔夫君) 山口君。

○8番(山口 安彦君) 私はここで質問をしたということは、民間の納入の72社おられます、市内市外あわせてですけれども、非常に心配をしておられる話をちらっと聞きましたので。

実は私もうちの酪農組合というところはスパ・タラソさんには自販機も設置させていただいておりますし、以前はソフトクリーム材料の納入もしておりました関係、実は関係者であります。しかし、おことわりをしながら、市民の皆様、業者の皆様方、あるいは利用者の皆様方の方、また職員の今配置計画、要因の計画もこの事業計画書の中にありますけれども、前提として企業体の雇用条件を承認していただいたということが前提で再雇用しようかということを書いてあります。

スパ・タラソの設置の目的といいますか、そのことに関して、この今回の指定を受けられました会社、企業体は非常に計画書を見ますと立派なこと書いてありますし、多分そういう思いでされれば、あそこの経営あるいは中身も本当に生まれ変わるようなことを私は期待しております。

その一方で、やはり民間でございますので、どうしても今までの(株)おおやのみたいな緩やかなといいますか、その設立の趣旨からしまして、民間はなかなか限られた中で21年度の事業の計画の中でも収支の予算では250万円程度の利益を出すような趣旨の予算書もありました。

そういったことで、民間といいますと、非常にある程度は利益も出していかなければいけないという会社でございますので、使命もあるかと思っております。そういった中で納入をしておられる方々が今までどおりに本当に、価格にしましても、あるいはほかのことにつきましても、保証とまでは言いませんけれども、ある程度これは企業体の四方よしといいますか、取引業者あるいは本体、お客さん、四方という表現をしておられます、地元の業者さんあるいは関係者を優先するというのをうたっておられます。

本当に企業でございますので、その辺のことは私が余り圧力がましいことを言うのも何ですが、ぜひ地元の業者の皆様方は地域の経済の基盤といいますか、そういったものも確保していくためには理解をしていただきたいと思っております。

今度26日あたり、協定書の調印をされるわけですが、市の方からそういったお願いと

いいですか、こともあわせてしていただければと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

○議長（渡辺 稔夫君） 企画観光部長。

○企画観光部長（村田 一安君） 今の要望でございますけれども、一つの例をとりますと、レストラン部門につきましては地元の新鮮な素材を生かしたバイキングという形で行きたいという事でございますので、地元の新鮮な素材ということでございますので、そういうことで地元の素材を使っただけではないかと思っております。私たちのほうからは一応お願いという形になるかと思えます。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） お願いしかできないと思っております。そしてまた強くお願いをしていただきたいと思えます。と申しますのも、やはり本市におきましては貴重な財産であるとともに設置の目的からしまして地域の雇用あるいは経済の活性化、さらには観光のシンボルとしてああいう施設ができております。年間2億円程度の起債の償還、さらには管理費もある程度、年間2,800万円ですか、七百何十万円ですか、ことをしているスパ・タラソ天草でございますので、さまざまな形で地域との連携というものは不可避と思っております。そういった観点から重ね重ねでございますけれども、市長にも最後をお願いをしますけれども、ただいまの企画観光部長が答弁されましたけれども、市の代表者として市長にもその辺のことをぜひお願いをしてまいりたいと思えますけれども、一つ御答弁をよろしく申し上げます。

○議長（渡辺 稔夫君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） スパ・タラソ天草は市の公共施設でありますので、当然その立ち位置というのは市との連携というのが基本だろうと思っております。協定書の中でも市との連携、また市の観光資源の一つであるという点も踏まえての協定でありますので、今後ともその関係は継続できるものと思えます。具体的にどういった連携ということになるかと思えますけれども、まず一つに雇用を、これは地元優先ということでお願いしたいということ当初から申し出ておりましたので、これについては達成でき得るかと思えます。あと、物品業者との契約については私のほうは存じ上げる立場ではないんですけれども、これについても鋭意努力していきたいと考えております。

○議長（渡辺 稔夫君） 山口君。

○8番（山口 安彦君） 最後になりますけれども、さまざまな、スパ・タラソが開業されて丸々4年間ですか、いろんな問題もあり、昨年といいますか、今期でございますけれども、プール部門の休止とかいろんなことで住民運動もあつたりしました。

それぞれの立場で、その目的に沿った形で何とか3月までできましたので、閉めることなく本当にありがたいと思っております。今回新しく指定管理をされた企業体の中には、当地の出身の取締役もおられますので、地元への、地域への貢献ということも十分考えながら強くその方向に向けて活動をされたとは伺っております。

そういったことで、この企業体にスパ・タラソの運営を預けたことが後々非常によかったとい

うことで、いろんな形で改善されていくことを私は望んでおりますし、ぜひその期待を裏切らないような方向で進めていただきたいと思います。

本当に難しい側面もありますけれども、今まで第3セクター的な会社の運営でございましたが、これからは本当に民間のそうそうたるメンバーの方々が、役員とかその業務に当たれるような計画もありますので、また新しい形のスパ・タラソの運営が始まることを本当に期待もしておりますし、見守っていきたいと思っております。

そういったことで、本当に時間はもうちょっと短くするつもりでしたけれども、少し長々となりました。昼の時間を過ぎまして大変御苦勞、おなかのすかれた方、あるいは傍聴者の皆さん方にもおつき合いをいただきましてありがとうございました。

これで本当に私の一般質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。

○議長（渡辺 稔夫君） 以上で8番、山口安彦君の一般質問が終わりました。

以上で本日の議事日程は終了いたしました。

あす6日は文教厚生常任委員会と建設常任委員会、9日の月曜日は総務常任委員会と農林水産常任委員会を開催しますので、関係委員会への出席をお願いいたします。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午後 0時18分